

2024年12月8日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第67巻第37号(通算3419号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

小さくされている人を
大切に^{たいせつ}する教会^{きょうかい}



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

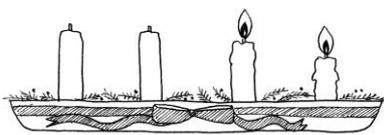
<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

谷はすべて埋められ、山と丘はみな低くされる。曲がった道はまっすぐに、

でこぼこの道は平らになり、人はみな神の救いを見る。(ルカによる福音書3:5-6)



だい れいはい
第2アドヴェント礼拝

たいこうせつ だい しゅじつ れいはい
(待降節 第2主日礼拝)

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

ぜんそう もくとう
前奏(黙祷)

ちよさくけんしやうめつ
AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば
招きの詞

しへん
詩編

へん せつ
96編 11-13節

さんびか
賛美歌

ばん しゅ ま のぞ
21-242番「主を待ち望むアドヴェント」(1-2節) (©JASRAC)

てんとう
クランツ点灯のことば

せいしょ
聖書

ふくいんしょ
マタイによる福音書

しょう せつ
13章 53-58節

いの
お祈り

さんびか
賛美歌

ばん ちよさくけんしやうめつ
21-289番「みどりもふかき」(©著作権消滅)

おどろ ふしんこう
メッセージ「驚くべき不信仰」

みずたに けん ぼくし
水谷 憲 牧師

さんびか
賛美歌

ばん しゅ て お
21-446番「主が手をとって起こせば」(©JASRAC)

しゅ いの
主の祈り

ばん てん ちち さんびかかいていいんかい
21-62番「天にいます わたしたちの父」(©讚美歌改訂委員会)

ささげもの
献げ物(*)

は けん
派遣

ばん かみ めぐ う せつ
21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅくふく
祝福

みずたに けん ぼくし
水谷 憲 牧師

こうそう
後奏

ばん きやうだんさんびかいいんかい
アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)

ほうこく
報告

ページ さんしやう
(4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* 「献げ物(献金)」は、受付にある献金箱にお献げください。

招きの詞 詩編 96 編 11-13節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

11 天は喜べ。地は喜び躍れ。

海とそこに満ちるものは、とどろけ。

12 野とそこにあるものも皆、喜び勇め。

森のすべての木々も、喜び歌え

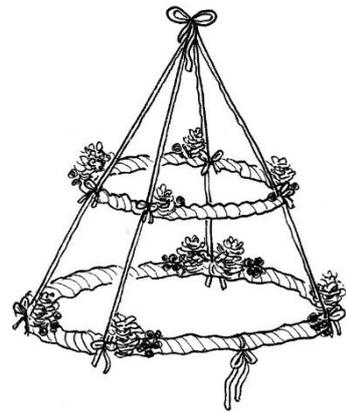
13 主の前に。

主は来られる。

地を裁くために主は来られる。

主は義によって世界を

まことをもってもろもろの民を裁かれる。



クラッツ点灯のことば

神様、今私たちは 2 本目のろうそくを^{とも}灯して礼拝をします。神様が長い間、一人一人を大切にし、守り続けて下さったことを、聖書は^{あかし}証しています。神様の約束は、必ず成し遂げられると信じます。どうぞ、全ての人々の救い主イエス様を、私たちの所に^{つか}遣わして下さい。



聖書 マタイによる福音書 13 章 53-58 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

53 イエスはこれらのたとえを語り終えると、そこを去り、54 故郷にお帰りになった。会堂で教えておられると、人々は驚いて言った。「この人は、このような知恵と力をどこから得たのだろうか。55 この人は大工の息子ではないか。母親はマリアと言ひ、兄弟はヤコブ、ヨセフ、シモン、ユダではないか。56 姉妹たちも皆、私たちのところにいるではないか。この人はこれらすべてのことを、一体どこから得たのだろうか。」57 こうして、人々はイエスにつまずいた。イエスは、「預言者が敬われないのは、その故郷、家族の間だけである」と言ひ、58 人々の不信仰のゆえに、そこではあまり奇跡をなさらなかった。

《先週のメッセージより》2024年12月1日 第1アドベント礼拝

「目を覚ましていなさい」より

水谷憲牧師

聖書 マタイによる福音書 24章 36-44節

イエス・キリストはオリーブ山で話された。「この世の最終段階、人の子が天の雲に乗って現れ、ラッパの音と共に選ばれた人々を呼び集める。その日がいつになるか、天使も自分も分からない。その時、畑に二人の男がいれば、一人は連れて行かれ、もう一人は残される。二人の女が臼をひいていれば、一人は連れて行かれ、もう一人は残される。だから、目を覚ましていなさい」と……。では、具体的にどうしたらいいのか。どうしたら私たちは目を覚まして備えていることになるのか。ある牧師が言っていた。「目を覚ましていることは、見ていることである。何を見るのかというと、自らの生き方であり、今自分が生きているこの世の中である。この世の中は今どうなっているのか。イエスが語り、またその振る舞いで示した神の国の実現に向かっているのか。それともその逆の方向にあるのか。それをしっかりと見なければならぬ。また、目を覚ましていることは、イエスを見ることである。イエスがどのように生き、どのようにこの世と関わりを持たれたかを見ることである。イエスをしっかりと見ていると、今何をなすべきかが見えてくる。そして、この世の中も見えてくる」と。

先日の朝、柏原市の近鉄線の踏切で、人身事故があった。私の職場のすぐそば。亡くなったのは、13歳の男子中学生。運転士によると、男子中学生が踏切内に遮断機をくぐるように入ってきて、線路内でうつぶせで寝ころんだのだという。毎日どれだけ苦しかったことか。学校か。家にも居場所がなかったのか、大切な家族には心配をかけたくなくて、じっと黙って苦しみを抱え込んでいたのか。「踏切にうつぶせになる勇気があるなら…」なんて言う人もいるが、勇気があるなしではない。彼にはもうそれしか道がなかったのだ。そこまで苦しみをぬいて頑張った彼の魂は、必ず神様が「よくがんばった」と天国に連れて行って下さっているだろう。身近な人々の中で、今悩み苦しんでいる人、喉が渇き、寒さに震えている人、人との関わり・条件抜きの愛やいたわりに飢えている人はいないか。イエスならどうされたか。13歳の彼の痛ましい死は、彼を見つけてあげられず、守ってあげられなかった私たちの罪の結果でもある。私たちはこれ以上同じ過ちを繰り返さないように、目を覚まして周りを見、自分自身を見、キリストを見ながら、キリストが私たちのもとに来てくださる日を待ちたい。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 12月1日 第1アドベント礼拝

礼拝出席 大人5名 献金 大人5,000円 中継視聴者数13回 感謝

昨日12月7日の15時~16時にかけて、久宝まぶね保育園50周年記念を兼ねた「教会学校クリスマス会」を開催しました。参加は久宝まぶねこども園の卒園児で、小学1年生から6年生まで42人の参加でした。みんなで賛美歌「きよしこの夜」を歌って、牛田牧師からのクリスマスのお話があった後、特別プログラムとして、スマイルパフォーマーQちゃんによるバルーンアートなどがあり、みんな大喜びの楽しい一時を過ごすことができました。どうもありがとうございました。

◎次週 2024年12月15日(日) 待降節(アドベント) 第3主日礼拝

招きの詞 詩編 113編 5-9節

聖書 ルカ 1章26-38節、マタイ 1章18-23節

メッセージ「聖霊によって、神によって」牛田匡牧師

賛美歌 21-178番(©出版局)、21-244番(©JASRAC)、21-241番(©P.D.)

◎お知らせ

- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・12月の釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」は、休会です。釜ヶ崎・いこい食堂では毎年12月のクリスマスには、諸教会や諸団体、賛同者の方々から集められたお弁当を、お配りしています。今年も日本コイノニア福祉会の3施設(旭丘まぶね保育園、特別養護老人ホーム大阪好意の庭、特別養護老人ホーム第二好意の庭)から、65食のお弁当を作って、クリスマス当日の25日にお届けする予定です。
- ・今年も「クリスマス献金」を集めています。献金先は「関西学院大学神学部後援会」「日本基督教団部落解放センター」「一般社団法人神戸国際支縁機構」「生活困窮者支援(釜ヶ崎への毎月のおにぎり支援基金、他)」「関西労働者伝道委員会」「アハリー・アラブ病院を支援する会」「ナルド献金(大阪教区・互助特別献金)」の7団体です。各団体の詳細や活動内容については、それぞれの団体のチラシや、ウェブサイトなどを、ご参照ください。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
12/15	牛田匡牧師	(第3アドベント礼拝)
12/22	牛田匡牧師	クリスマス礼拝・ユーカリスト (おにぎり支援はありません)
12/29	牛田匡牧師	歳末礼拝・誕生者祝福式
2025年 1/5	牛田匡牧師	新年礼拝・ユーカリスト



Merry Christmas

クリスマス
おめでとうございます

見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名は「インマヌエル」と呼ばれる。これは「神は私達と共にあられる」という意味である。
(マタイによる福音書1章23節)

クリスマスは、イエス様のお誕生日をお祝いします。私達も命を頂いた感謝の日として、心のお休みに町の小さな教会のクリスマス礼拝へいらしてください。

【クリスマス礼拝のご案内】
2024年12月22日(日) 10:30~11:30
ウェブサイトにて無料中継配信(申込・登録不要)
(毎日曜10:00~こどもの礼拝、10:30~礼拝を行っています)

日本キリスト教団 久宝教会
(久宝まぶねこども園・南側)
八尾市久宝寺6-7-10 電話(072)992-2131 牧師 牛田匡
ホームページ